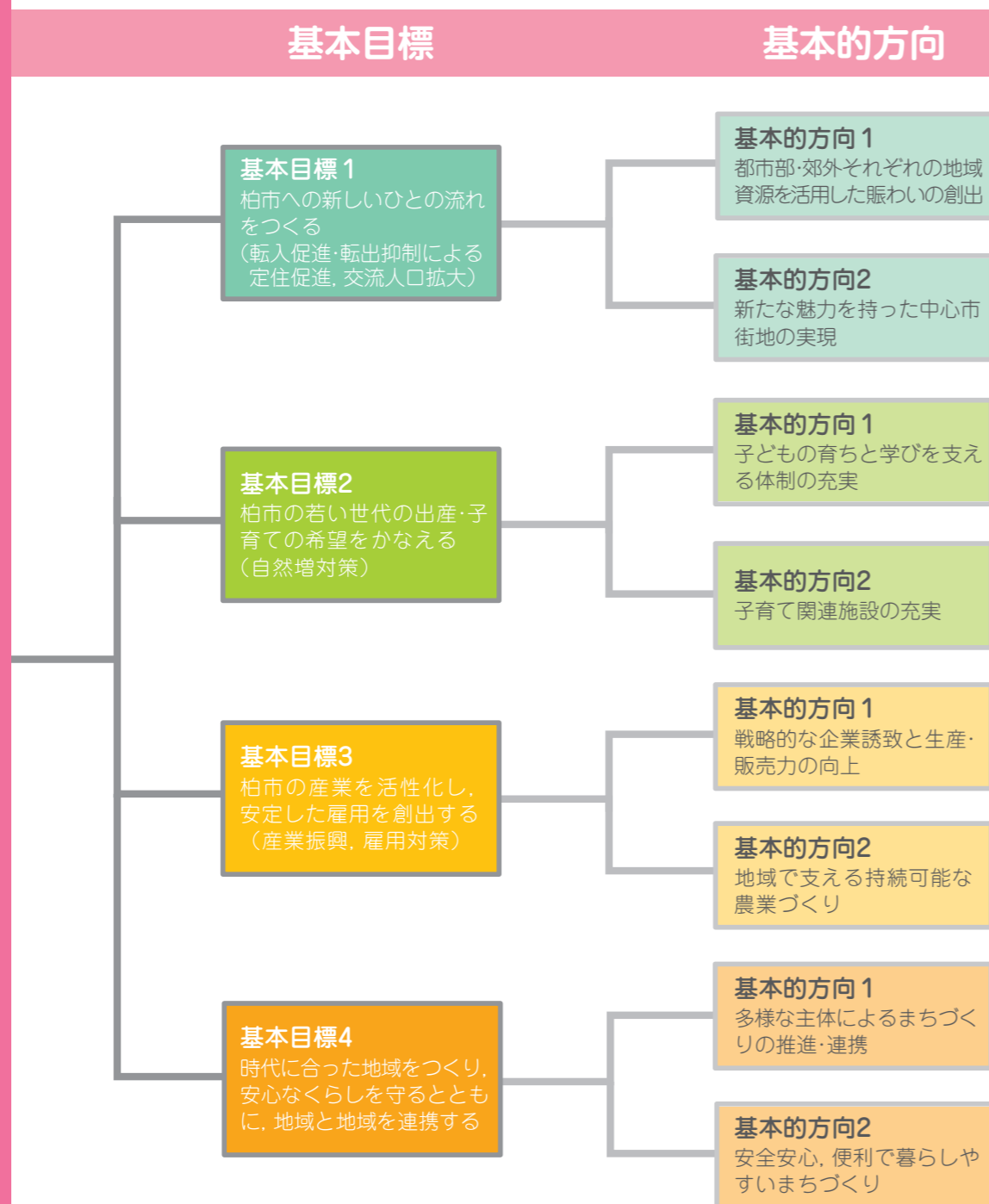


5 総合戦略の体系

市総合戦略では、将来展望である「行きたい 住みたい・選ばれ続けるまち・柏市」の下に4つの基本目標が設定されています。この基本目標の達成に向けて、どのような施策を推進していくかを示しているのが、基本目標の下にある「基本的方向」です。基本的方向の下には、実施していく具体的な事業が設定されていきます。

基本目標には、5年間取組んだ結果に対する数値目標を、また、基本的方向にも実施した効果の確認を行う仕組みを取り入れることで、市総合戦略を確実に進めていくことを目指しています。

< 計画期間 平成27年度～31年度 (5年度間) >



柏市 企画部 企画調整課

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号 代表電話 04-7167-1111
 -平成28年3月-

柏市地方創生総合戦略

概要版

「行きたい 住みたい・選ばれ続けるまち・柏市」

柏市地方創生総合戦略とは

全国的に進む人口減少は、現在も人口増加が進む柏市にもいずれ訪れる可能性があります。その影響をできるだけ防ぐためには、この地域の特色を活かし、活力を維持していくことが必要です。

柏市では、「行きたい 住みたい・選ばれ続けるまち・柏市」を将来展望とする「柏市地方創生総合戦略」を平成27年度に策定しました。

市総合戦略では、現在の柏市が持つ力を維持しつつ、柏市が持つ多様性を活かすことで、多くの人々に選ばれる魅力あるまちづくりを進めます。



まち・ひと・しごと創生とは

1

日本の各地で、急激な人口減少が進んでいます。それに歯止めをかけ、地域で住みよい環境を確保することで活力ある社会を維持することを目指して、各自治体がそれぞれの特色を生かして取り組むことを示した「まち・ひと・しごと創生法」が、平成26年11月28日に公布・施行されました。この法律では、市町村が取り組む際の基本的な計画として、「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めることが求められています。

柏市地方創生総合戦略とは

2

柏市は「柏市地方創生総合戦略」（以下、「市総合戦略」）を平成27年度に策定しました。市総合戦略は、今後の柏市の方向性を示した「柏市第五次総合計画」の将来都市像の実現に向け、また、まち・ひと・しごと創生の観点からも取り組むため、柏市第五次総合計画で位置づけられた施策を基本に、新たに取組むことが望ましい事業を加えて再編・策定しました。

柏市の課題（人口ビジョン）

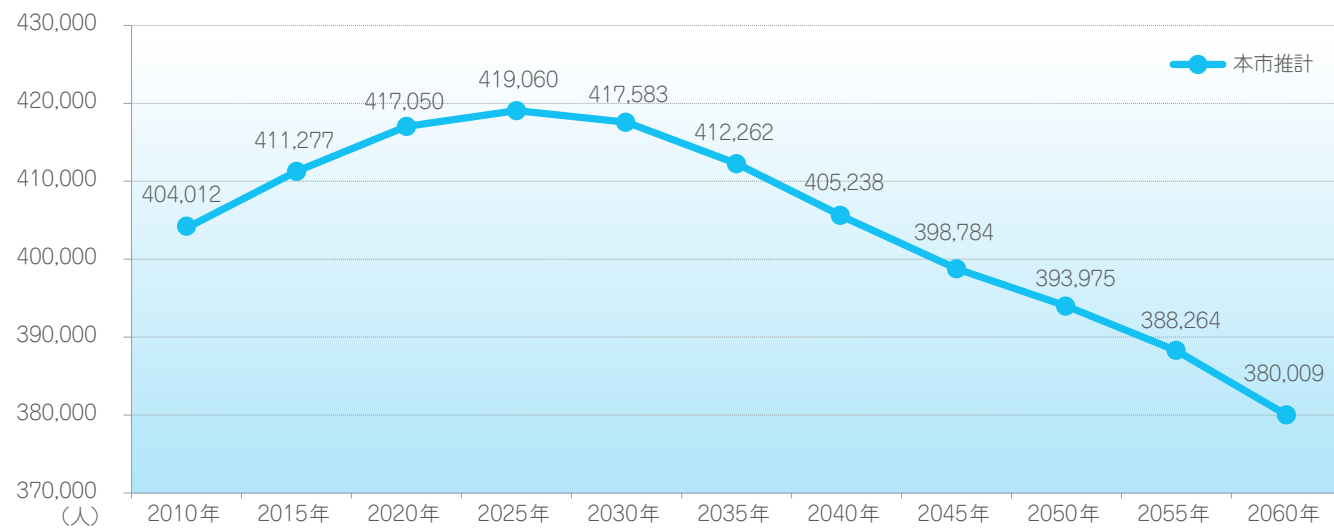
3

柏市では、現在も人口が増え続けています。しかし、全国的に進む人口の少子高齢化は柏市でも起こりつつあり、2025年からは人口の減少が予想されています。

人口の減少は、住民生活・地域経済・市の財政に大きな影響を与えるものであり、まちの活力を維持するためにも人口減少を防ぐことは重要です。そして、その方向性としては、①安心して子どもを生み・育てられる環境と支援体制を整備し、出生率と出生数の向上を目指す、②良い居住環境・子育て環境を整えることで、柏市からの転出者を減らし、転入者を増やす、

③魅力あるまちづくりを進め、人々を呼び込む、ということが望ましいと考えます。よって、柏市では2060年の人口の目標を現在の人口規模とほぼ同じである41万人程度を維持することを目標に、現在の柏市の活力を維持し、より高めるための取組を市総合戦略によって進めることとし、人々から「行きたい 住みたい・選ばれ続けるまち・柏市」を目指します。

参考 柏市の将来人口推計



市総合戦略で重点的に取組むこと

4

取組 1

定住政策

「住み続けられる・住みたいまち」をつくる

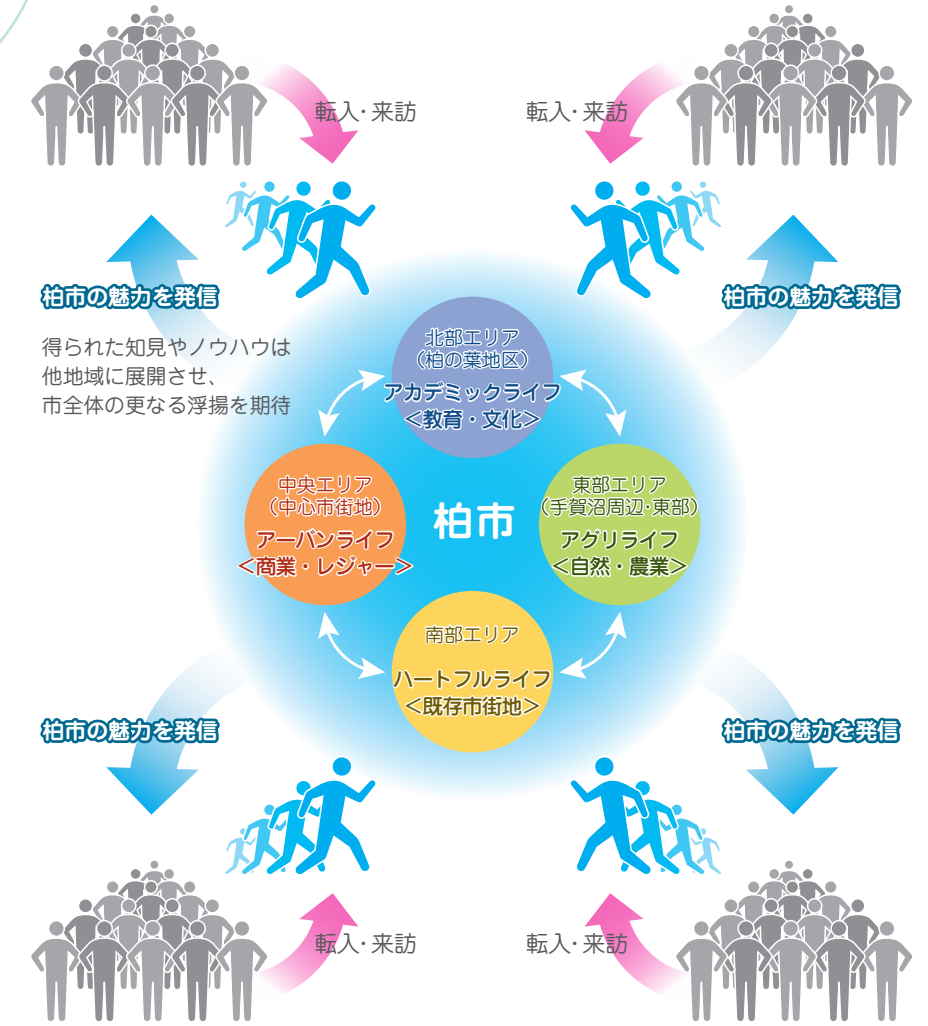
● 柏市に住み続けたい・住んでみたいと考える人々を増やすには、住み続けられる仕組みづくりを進めて定住人口を増やす「定住政策」が必要です。

▶ 柏市が持つ商業等の利便性、教育や文化、恵まれた自然等のさまざまな魅力を活かすことで、都会的な暮らし・自然に囲まれた暮らし等、それぞれが望む暮らしをかなえる住まい方の可能性を示していきます。

▶ 子育てを支援する体制の強化を行い、安心して生み・育てられるまちづくりを進めることで、出生率の上昇を目指します。

柏市の多様性を発信し、人を呼び込む

柏市は大きく4エリアに分かれ、それぞれに異なる特徴があります。この柏市ならではの恵まれた資源・多様性を活かし、取組を進めます。



取組 2

観光・交流拠点の機能強化

「行ってみたい・行きたいまち」となる

● 柏市外の人々には、柏市を知り・訪れてもらうことも大事です。こうした交流人口について大事であるのは、何度も訪れてくれる人々、いわば柏市の「ファン」を増やすことであり、そうした人々にとって柏市が「行ってみたい・行きたいまち」、さらには「住んでみたいまち」となっていくことが望まれます。

▶ 戦略的にまちの魅力を高め、アピールを進めることで、何度も訪れたいと考える交流人口の増加を目指します。

